



(IRラージ説明会 第1部)
2026年3月期
中期経営計画

2023年5月1日
豊田通商株式会社

2023年3月期の中期経営計画の振り返り

	23/3期 目標	成果		
当期利益	1,500億円	2,841億円		
営業CF (収入)	6,000億円～	3年累計	7,394億円	
投資CF (支出)	3,500億円～	3年累計	3,994億円	
ネット DER	1.0倍以内	23/3末	0.68倍	
株主還元	配当性向25%以上を基本方針とし 安定的な配当増額に努める	21/3期 112円 (29.3%)	22/3期 160円 (25.3%)	23/3期 202円 (25.0%)
RA/RB	1.0未満でのリスク管理	23/3末	0.7	

コロナ禍の中でも継続的な成長により、目標達成

2026年3月期中期経営計画策定にあたって ～これまで～



Be the Right ONE

2000年代

2010年代

2020年代～

グローバル展開
事業領域拡大

新たな種まきの
加速

次の新しいステージ
新たな挑戦

時価総額※1 1,179億円
当期利益 82億円
人員数 9,493人

11/3期
4,858億円
472億円
31,081人

23/3期
19,897億円
2,841億円
67,228人※2

ありたい姿の実現のために

- 真のグローバル企業
- お客様に信頼され・
選ばれ続ける企業

※1 時価総額は
各期末(3月末)時点

※2 人員数23/3期は
22年12月末時点

ステージを変えながら成長、「次の新しいステージ」に立つ

2026年3月期中期経営計画策定にあたって ～環境分析と打ち手～

外部環境変化による事業環境影響

第4次産業革命

気候変動問題

当社を
取り巻く
事業環境

地政学リスク・
コロナ禍

機会を活かし
リスクをチャンスへ



Be the **Right ONE**

当社の戦略を加速させ、進化

- SC※を守り抜く(基盤事業)
- 7つの重点分野への取り組み
- 「グローバル人財」の輩出

※
SC : サプライチェーン

外部環境変化に柔軟に対応し、リスクをチャンスへ



Be the **Right ONE**

Moon Shot

時間

未来

現在

7つの重点分野

+ α事業 =

Economy
of Life

注力事業

ネクスト
モビリティ

水素・
代替燃料

バッテリー

再エネ・
エネマネ

循環型
静脈

アフリカ

加速ドライバー



グローバル化



デジタル変革

基盤事業



金属



グロージ



モビリティ



機エネ



化エレ



食料生活



アフリカ

土台：「豊田通商グループウェイ」

商魂 / 現地・現物・現実 / チームパワー(強い個・強い組織)

基盤事業の強化、進化



アルミ溶湯
リチウム製造販売
ONLY 1



アフリカにおける
売上高1兆円超



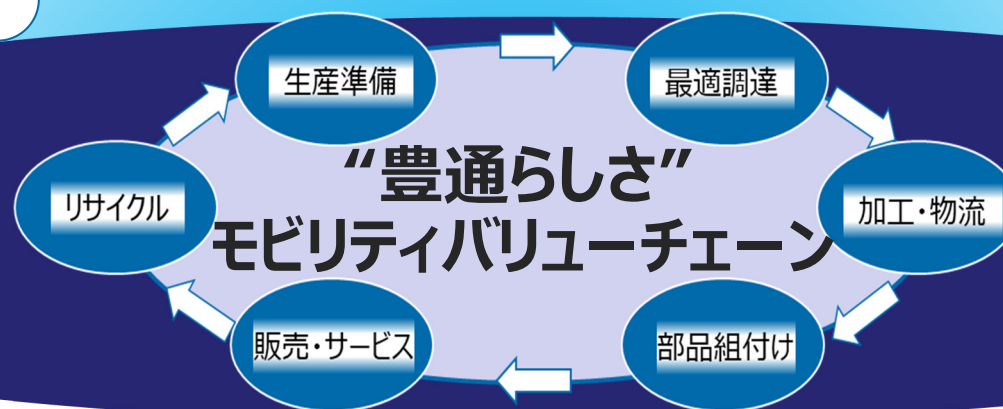
モビリティ鋼板取扱量
No.1



使用済み自動車
リサイクル率
99%以上



世界最大の
車載エレクトロニクス商社
NEXTY Electronics



“豊通らしさ”を持つ基盤事業を磨き上げ、“豊通ならではの”の存在へ

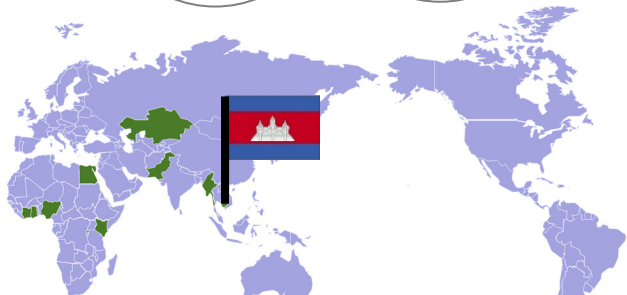


開発途上国の
社会課題の解決のため

バリュー
チェーン
拡大

産業化

雇用創出



これまで9カ国で
KD・SKD事業を推進

10カ国目



Toyota Tsusho Manufacturing
(Cambodia) Co., Ltd.



MOUを締結



トヨタ・
ハイラックス

トヨタ・
フォーチュナー



2024年に生産開始予定

「地産地乗」サイクルの創出、国・地域と共に成長

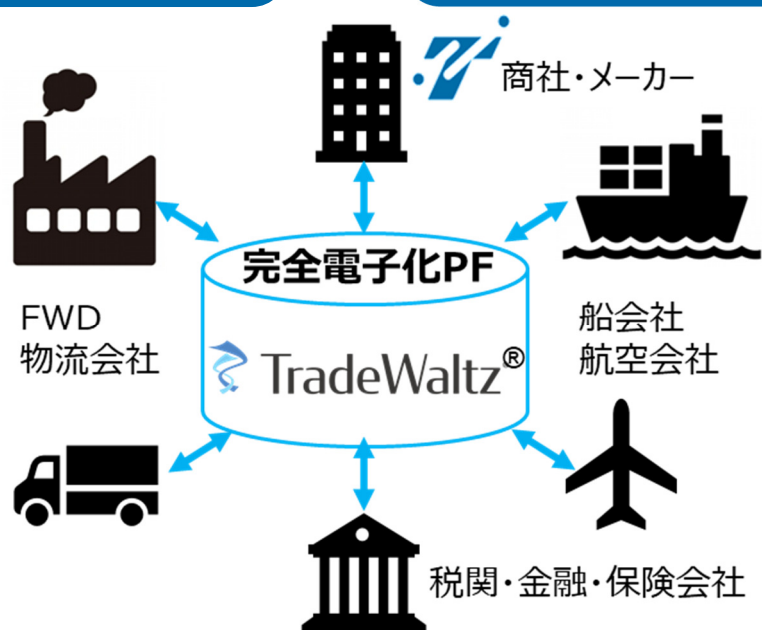


TradeWaltz

ブロックチェーン技術/業界横断貿易情報連携PF

2020年11月
設立年度に初出資

2022年8月
追加出資
アジア連携強化へ



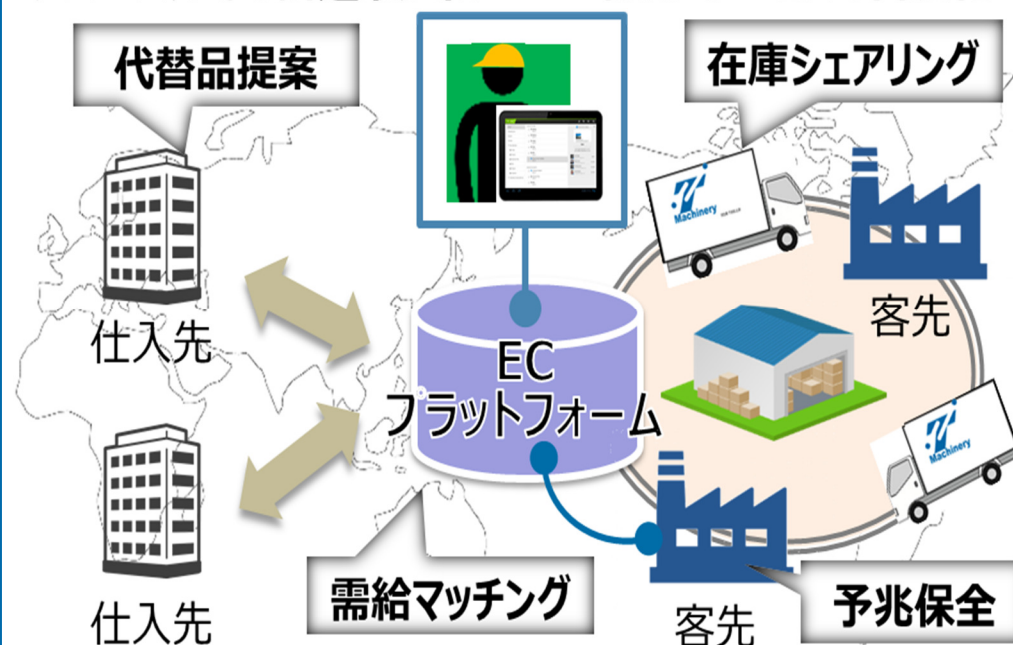
デジタルで貿易プロセスを変革し、
様々な商材を扱う当社VCへの活用

ECプラットフォーム

機械設備常備品

グローバルでの調達最適化

物流・サービスの高度化

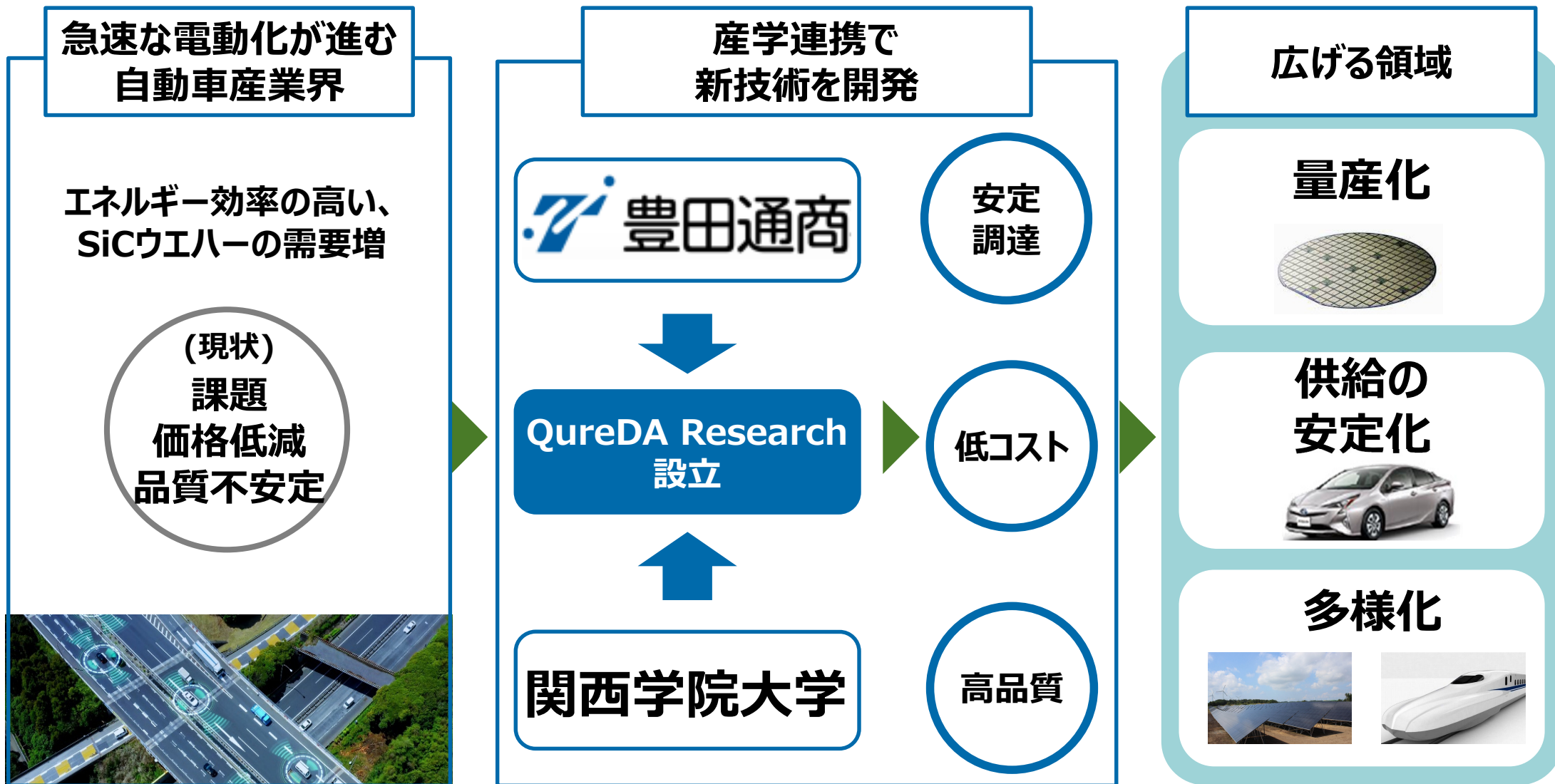


調達、物流分野でのデジタル活用で
さらなる効率化、高いレジリエンス

デジタルで効率化・新価値創造し、基盤事業を磨き上げる

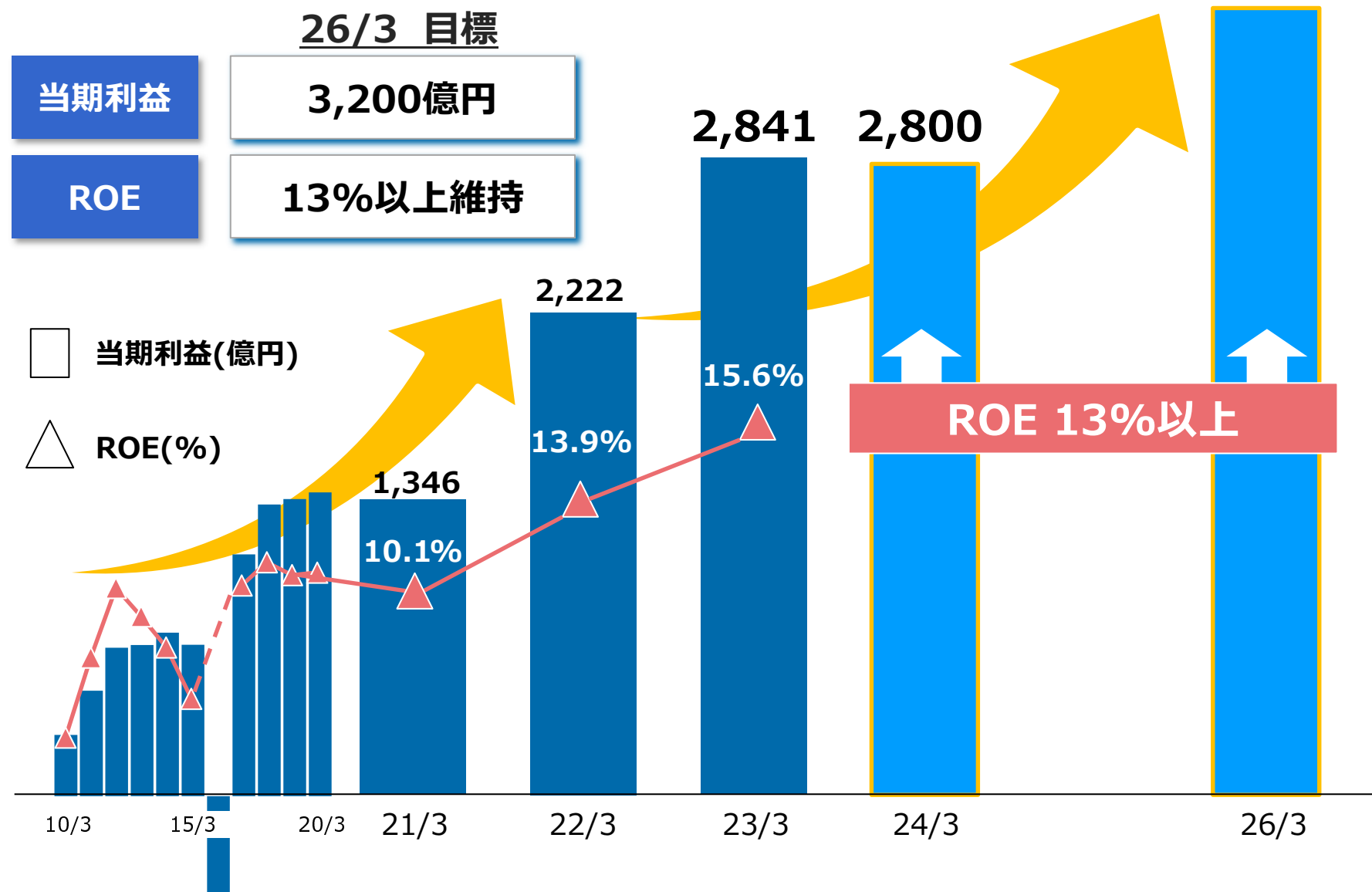
次世代半導体の開発 - 産学連携 -

基盤事業の強化、進化



電動車向けに期待される新技術開発を推進

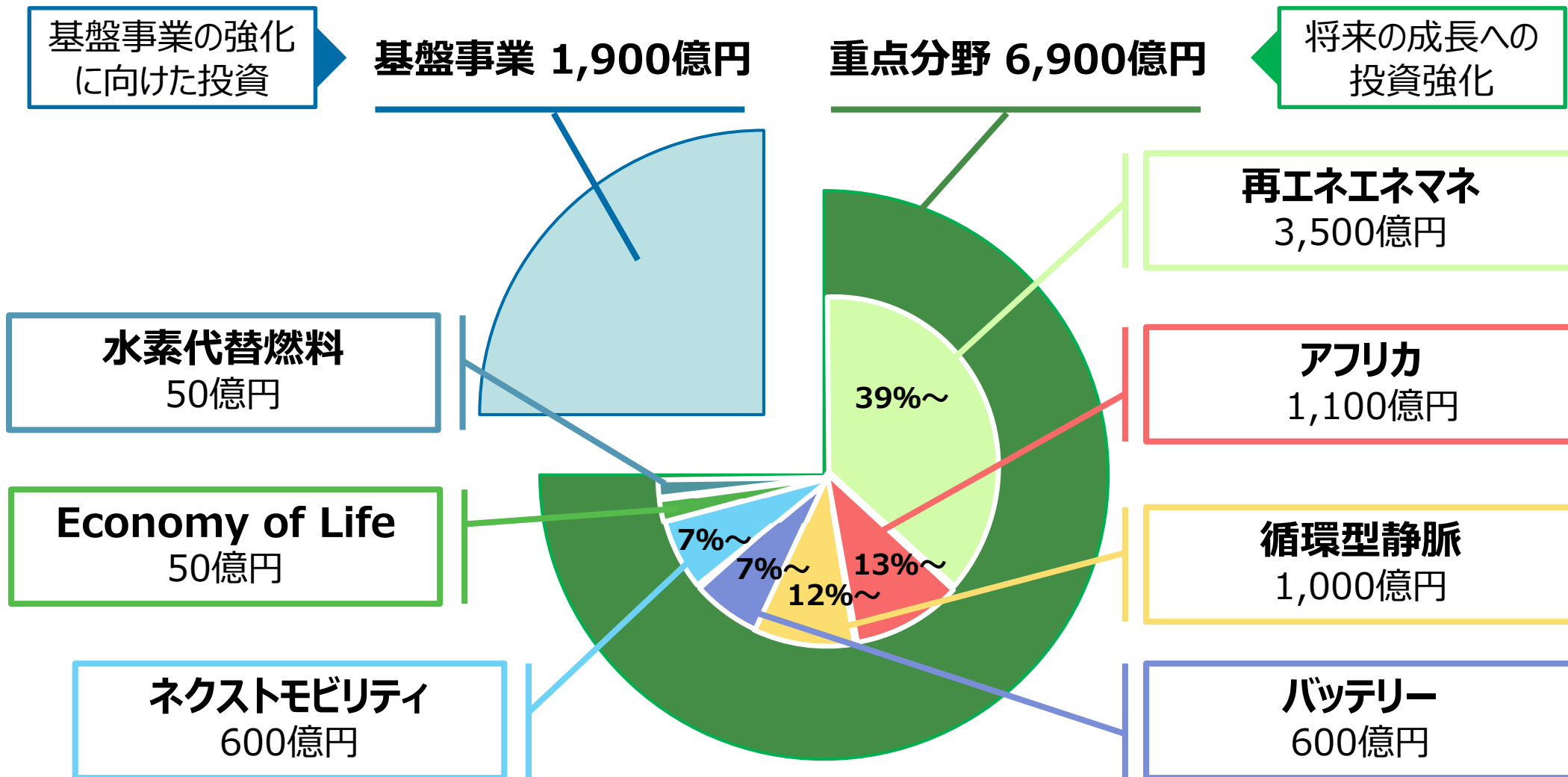
定量目標 ～当期利益・ROE～



不透明な状況下でも着実に利益は伸長、3,000億円台へ

定量目標 ～重点分野におけるバランスの取れた資源配分～

3年累計【24-26/3期】
投資配分イメージ



基盤事業、重点分野での投資において、バランスとスケールアップの両立

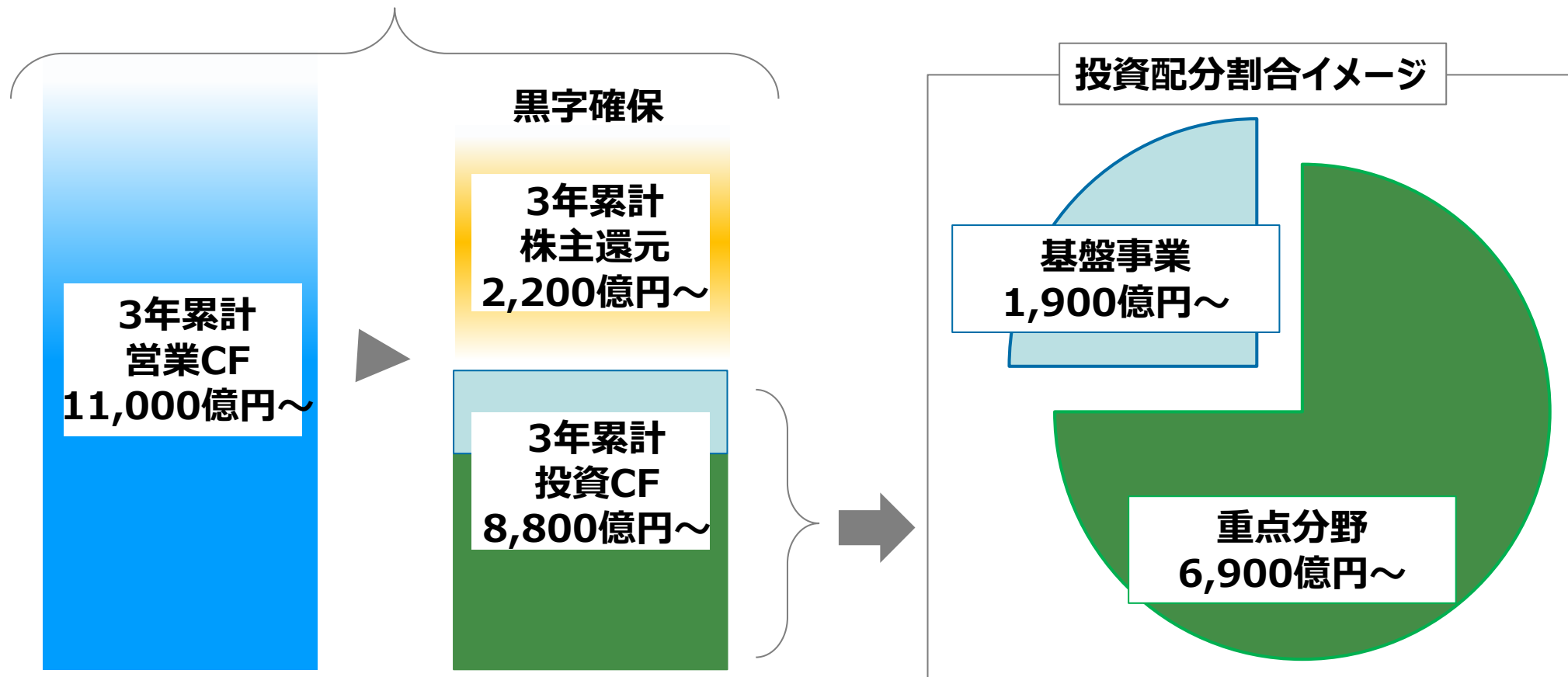
定量目標 ～投資・財務方針～

投資方針

- ・ 原則、営業CFの範囲内で投資
- ・ CN関連投資が先行する場合
➡ 投資額 > 営業CF

財務方針

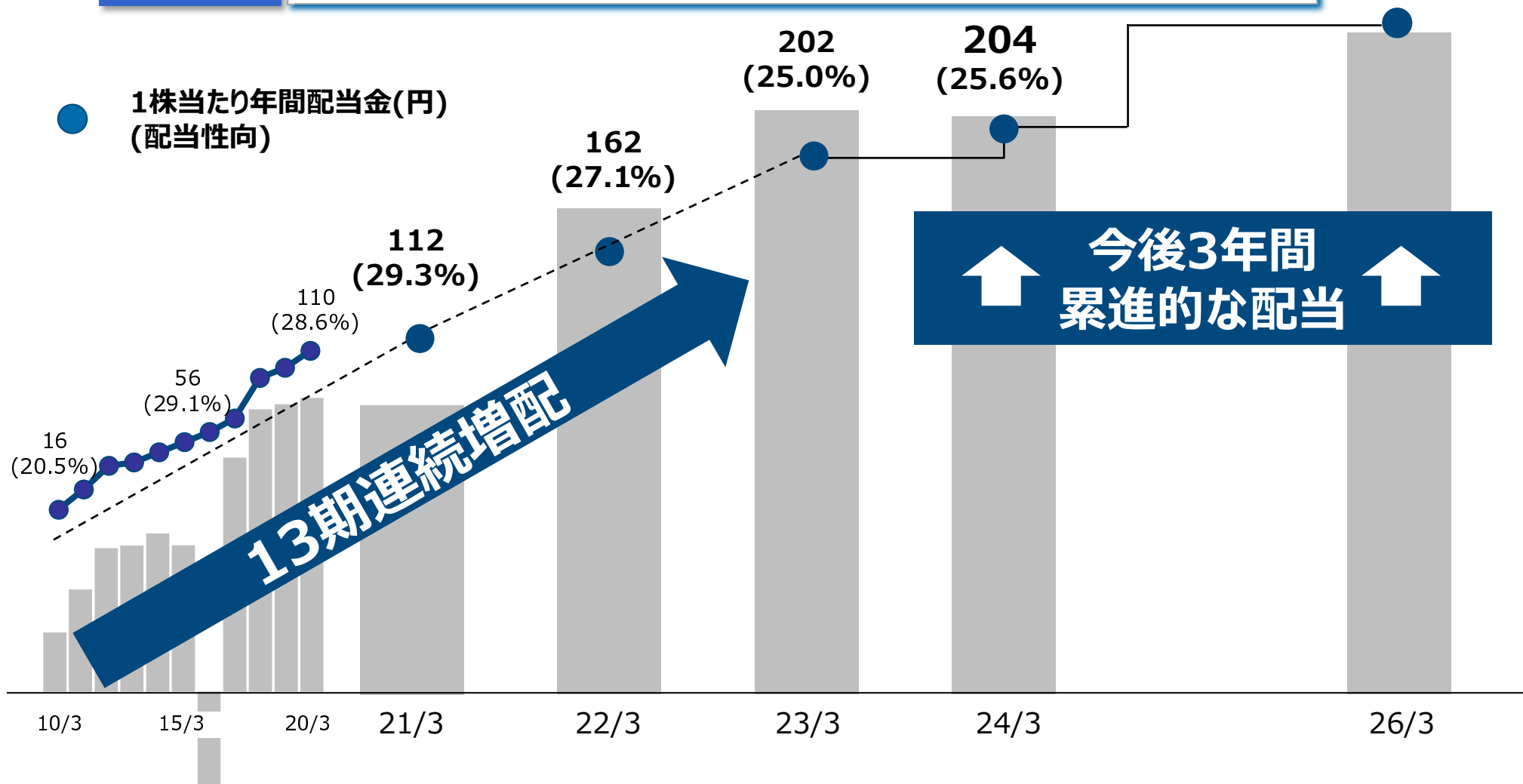
- ・ ネット DER 1.0倍以内
- ・ RA/RB 1.0倍未満でリスク管理



定量目標 ～株主還元～

株主還元

配当性向25%以上を基本方針とし、安定的な配当増額に努める



着実な利益の伸長とリーンの経営を実践し、より安定した株主還元

定量目標 ～まとめ～

当期利益
26/3期

3,200億円

CF
3年累計

営業CF：1兆1,000億円～
投資CF：8,800億円～

ネットDER

1.0倍以内

株主還元

配当性向25%以上を基本方針とし
安定的な配当増額に努める

ROE

13%以上維持

RA/RB

1.0未満でのリスク管理

お問い合わせ

豊田通商株式会社 財務部 IR室

E-mail ttc_ir@pp.toyota-tsusho.com

(東京本社)

TEL 03-4306-8201

- ◆ 当プレゼンテーション資料は、豊田通商株式会社及びそのグループ会社の戦略・経営計画など、歴史的事実でない「将来に関する見通し」を含んでいます。係る将来に関する見通しは、現時点において入手可能な期待・見積り・予想に基づいており、その性質上、これらの期待・見積り・予想はリスクや不確実性を内在しております。従って、当社を取り巻く事業環境、将来の業績、経営結果、財務内容等は、係る将来に関する見通しにおいて明示的または黙示的に示される情報と大きく異なる結果となる可能性がありますことをご承知おください。当社は、係る将来に関する見通しについて情報を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。
- ◆ 当プレゼンテーション資料は、有価証券の募集・売出、販売、勧誘を目的とするものではありません。投資・その他のご判断にあたり、当資料の内容に全面的に依拠することはお控えくださいますよう、お願い申し上げます。